

～大豆栽培情報 No.1～

滋賀県東近江農業農村振興事務所 農産普及課

<生育の概要>

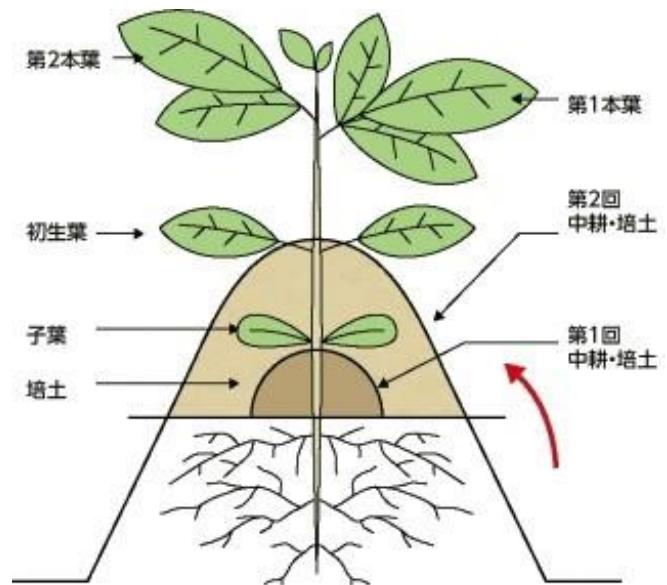
- 適期に播種されたところでは、苗立ちが良好で中耕培土の適期となっています。
 - 梅雨で播種が遅れた場合は、生育量が小さく雑草に負けてしまう可能性があります
- 以下の栽培管理を実施し、**高温や雑草に負けない大豆をつくりましょう！**

1.中耕培土

中耕培土は、土壌の通気性を改善し、根粒菌や根の活性を
を高めます。併せて、雑草の抑制や根域拡大による倒伏軽減
につながります。



中耕・培土作業



☆作業のポイント

作業実施時期 …大豆の本葉2葉展開期～4葉展開期

実施回数 …1～2回

(1回目と2回目の間隔は約10日程度空けましょう)

※根を痛める可能性があるので、開花期1週間前までに作業を完了しましょう！

2.うね間かん水

大豆は生育期間を通じて要水量が高く、水分が不足すると生育の停滞、落花、落莢をまねき、減収することがあります。

高温、晴天が続き、ほ場が乾燥している場合は、うね間(明渠)を通じてかん水し、着莢数を確保しましょう。

《実施時期》

開花始期 ～ 子実肥大期

※土壤に湿り気がなく、3 日以内に降雨の予報が無い場合、本葉4葉期以降でも実施を検討する

《実施タイミング》

▷晴天が7日以上続いた時

▷土壤が白く乾き土壤表層に湿り気が無い時

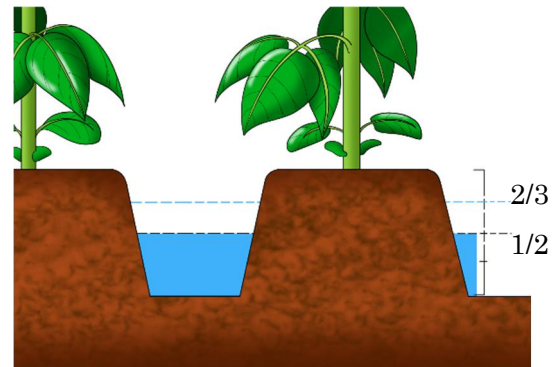


図 水口付近の水位目安 (畝間)

《実施方法》

▷水口部を開け、畝間または明渠に通水する。水位は、うね間灌水の場合は水口付近の畝の高さの $1/2 \sim 2/3$ 、明渠通水の場合は明渠の畝肩までとする(水が水尻に到達したら速やかに落水を行う)

《注意点》

▷高温時に実施すると根痛みを起こすため、必ず夕方から早朝にかけて実施する。

▷大豆と共に雑草の勢いも増すため、大豆の生育が弱いほ場や、欠株部分の雑草繁茂に注意する。

3.除草対策

大豆の生育を旺盛にし、地上を覆うことで抑草することが対策の基本です。一方、近年はアサガオ類やホオズキ類などの難防除雑草も増えてきており、草種に応じて効果的な除草剤を選択しましょう。

○雑草の種類によって、除草剤の効きが異なります！

複数の除草剤を使い分け効率的な雑草対策を講じましょう！

・イネ科雑草 ⇒ ポルトフロアブル ・広葉雑草 ⇒ 大豆バサグラン

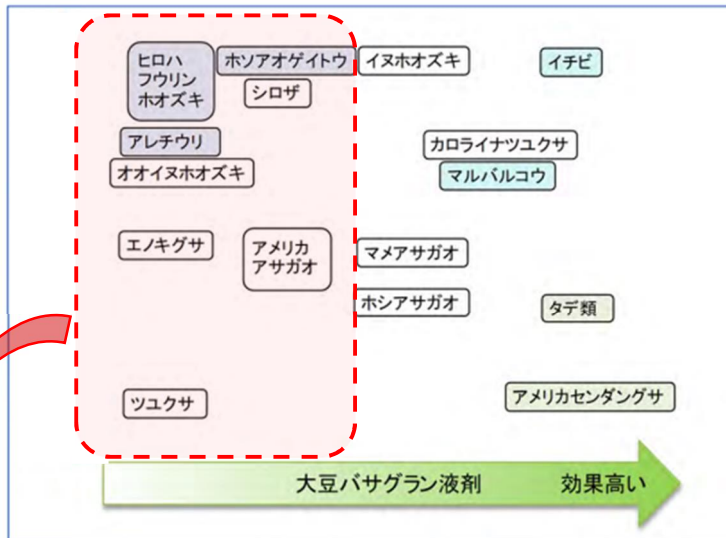


図 茎葉処理型除草剤の主な雑草に対する効果の差

((国研)農研機構「診断に基づく大豆栽培改善技術導入支援マニュアル」より一部抜粋)

○取りこぼしてしまう雑草にはパワーガイザーを！

パワーガイザー液剤(だいず、えだまめ 抜粋)

■登録番号：第20023号 ■有効成分：イマザモックスアンモニウム塩～0.85%

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	イマザモックスアンモニウム塩を含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
だいず	一年生雑草	出芽直前～3葉期まで (雑草発生始期～2葉期)	200～300mℓ/10a	100ℓ/10a	1回	雑草茎葉散布又は全面土壌散布	2回以内 (畦間処理は1回以内)
		生育期(雑草発生始期～2葉期)但し、収穫30日前まで				畦間雑草茎葉散布	
えだまめ	一年生広葉雑草	出芽直前～出芽期 (雑草発生始期～発生始期)				雑草茎葉散布又は全面土壌散布	1回



パワーガイザー液剤

この短期間しか使用できない！

大豆播種

土壌処理剤
(トレファノサイド、
ラクサーなど)

出芽直前～3葉期まで

茎葉処理剤
(大豆バサグラン
など)

タイミングに
要注意！

熱中症に注意！ 農作業中は、こまめな水分補給や休憩
を行い、健康管理に十分注意するよう心がけましょう